

VERTICAL BLINDS

バーチカルブラインド

取扱説明書 兼 製品保証書

製品保証 (商品のお受け取り日から1年間)

このたびは、弊社のバーチカルブラインドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当製品は、適正な品質管理及び検査を経て出荷しておりますが、万一保証期間内に、部品不良および製造要因により生じた不具合・故障に限り、修理費（送料を除く）を無償とさせていただきます。修理をご依頼の場合は、お買い上げいただきました販売店までご連絡ください。

ただし保証期間内でも、次の場合は有償での修理となります。

- 本書に記載通りの正常な取付け、ご使用をいただけなかった場合
- 消耗品（ルーバー・コード類）の過度な使用や経年劣化による外観不良・故障及び損傷
- 使用方法の誤りによる故障または破損
- 不当な改造・修理による故障または破損
- 火災・地震・水害・落雷等の自然災害による故障または破損
- 特殊環境（薬品・極度の高温多湿など）による故障または破損
- その他当社の定める除外規定による場合

尚、詳しくは販売店、もしくは販売サイト内に記載しております『保証規定について』をご確認ください。

お受取日

年 月 日

輸入元

v1.4

株式会社川口タンス店

〒963-8006 福島県郡山市赤木町 24-19

安全上のご注意 (必ずお守りください)

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性が想定される内容を示しています。

ご使用になる前にお読みください



警告

■お子様をルーバー、ボトムコードで遊ばせないでください。ルーバー、ボトムコードが首や体に巻きつくなどして、思わぬ事故を招く恐れがあります。

■火のそばではご使用にならないでください。ルーバーやボトムコード類が溶けたり、燃えたりして危険です。



注意

■バトンやルーバー、ボトムコードにぶら下がったり無理に引っばったりしないでください。製品が破損したり、落下によりケガをすることがあります。

■製品の動く範囲内に人や動きを妨げるもの、壊れやすいものがないことを確認してから操作してください。ケガをしたり、ものが破損する場合があります。

■窓を開ける時は、できるだけルーバーをたたみ込んでください。特に風の強い時は注意してください。製品の破損や、思わぬ事故につながる場合があります。

■ルーバーの端部は不用意に扱うと、手を切る場合がありますのでご注意ください。

■メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。

お取付けになる前にお読みください



警告

■製品重量に耐えられる下地に取付けてください。製品の落下や、下地の破損などの恐れがあります。



注意

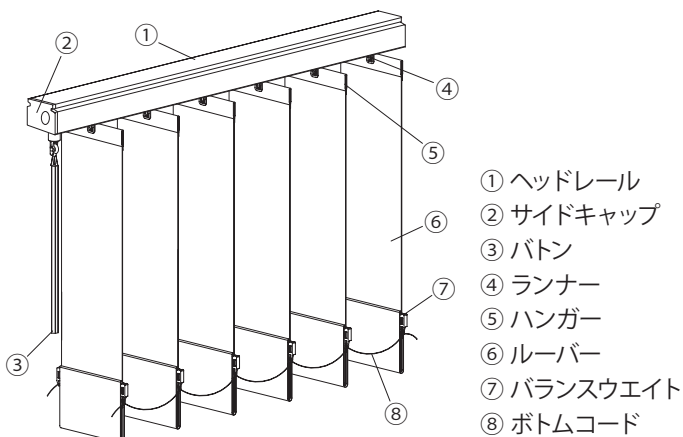
■付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外への取付けは、製品重量に応じたビス、アンカー等をご使用ください。取付け方が不十分だと製品が落下することがあります。

■ブラケット・L型金具を使って取付ける時には、ブラケット及び製品本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

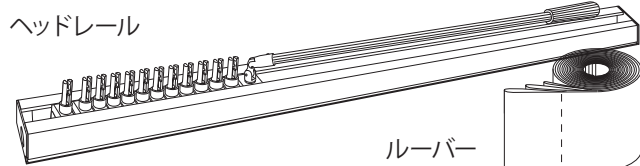
お 願 い

- 本来の使用目的以外に使用しないでください。
- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。ルーバーの変形、シミ・カビ発生の原因、また部品のサビの原因になります。
- 窓を開けて直射日光をルーバーに当てないでください。ルーバーが極端に退色、変色する場合があります。
- 製品および梱包材を廃棄する場合は、お住まいの自治体の取り決めに従ってください。
- 取扱い、取付け方の不備、取付け不良による事故などには一切の責任を負いかねます。

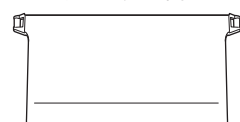
各部の名称



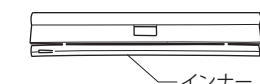
内容品



A: バランスウエイト



B: ハンガー



C: ブラケット



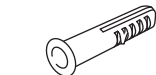
D: L型金具



E: 木ネジ(大)



F: コンクリート用アンカー (試供品)



G: ボルト(小)



H: ナット



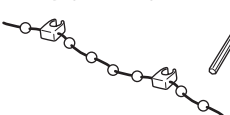
J: スプリングワッシャー



K: カーテンレール取付けプレートとボルト



L: ボトムコード



M: 六角レンチ



幅(cm) 個数	～80	～140	～200	～260	～380
C・D・G～K	2 個	3 個	4 個	6 個	8 個
E・F	4 組	6 組	8 組	12 組	16 組
A・B	ご注文サイズに合わせた数+1組				

※本仕様及び付属部品は、予告なく変更する場合があります。

取付けに必要な工具

製品の取り付けに必要な工具は以下の通りです。別途ご用意ください。取付け場所に応じた別な工具が必要になる場合があります。

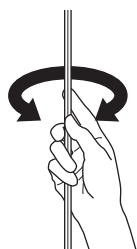
■必ず使うもの

- ・プラスドライバー (2番)
- ・キリ (下穴を開けるため)
- ・巻き尺、メジャーなどの長さを図るもの
- ・鉛筆 (取付位置に印をつけるため)
- ・ハサミ

■有ると便利な工具

- ・電動ドライバー (プラスビットと下穴用のドリルビット)

操作のしかた



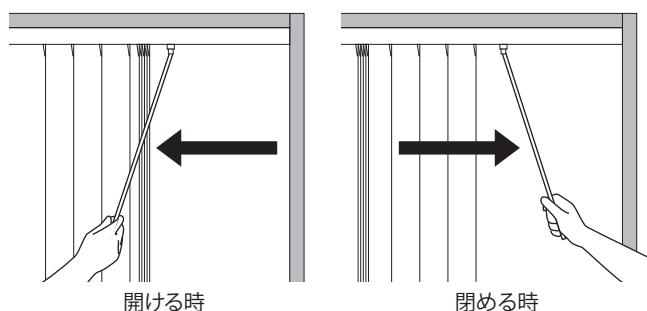
■ルーバーの角度調整 (回転)

◇バトンを回すと、ルーバーが回転します。軽い力で止まる位置で全閉します。

※何らかの要因で、ルーバー角度に不揃いが生じた場合は、バトン进行を全てのルーバーが全閉状態になるまで回してください。さらに回転させるとカチカチ音がして、不揃いのルーバーだけが回転し、角度が揃います。

■ルーバーの開閉

操作する前にルーバーの動く範囲に障害物のないことを確認してください。ルーバーがヘッドレールに対して直角の状態にしてください。直角でない状態で開閉操作を行なうと故障の原因になります。



◇バトンを開方向にゆっくり引くとルーバーが広がり、開方向にゆっくり引くとルーバーがたたみ込まれます。

ルーバーをたたみ込んだ時、または、全部広がった時にルーバーの揺れにより、少し移動してしまうことがあります。その際には、ルーバーの揺れがおさまってからもう一度ゆっくり操作をしてください。

⚠注意

■操作は必ずバトンで行なってください。直接ルーバーを手で引っぱると故障の原因となります。■開閉操作は、必ずルーバーがヘッドレールに対して直角の状態で行なってください。■開閉操作は、ゆっくりとバトンを引いてください。早く引くとルーバーが勢い良く移動し、危険です。■開閉操作は、バトンをあまり傾けないで行ってください。傾けすぎると故障の原因となります。

お手入れのしかた

- 日頃のお手入れは、羽根パタキ等でほこりを取り払ってください。
- ルーバーの汚れは、水を十分絞ったきれいな布で軽く拭きとってください。(水であっても、ルーバーは一度濡れると多少変色する場合がありますのでお取扱いには十分ご注意ください。)

製品の取付けかた

製品の取付けかたには正面付け・天井付けがあります。

1) 製品の確認

製品の変形、破損、付属品不足等がないことを確認してください。異常がある場合は、お買い上げいただいた販売店まで到着から7日以内にご連絡ください。7日を過ぎてからご連絡いただいた場合、送料お客様負担での修理となりますのでご注意ください。尚、詳しくは販売サイト内に記載の『保証規定について』をご確認ください。

2) 取付け下地の確認

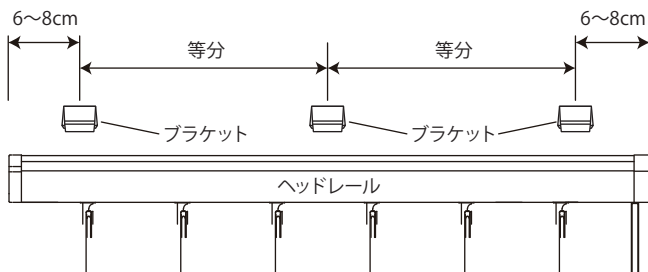
本製品は大型の為、取付けに際し十分な空間と取付け下地の強度が必要です。予め取付けに適しているか確認が必要です。

- ・木部に取付ける時は、厚さが1cm以上であることを確認してください。
- ・木部以外に取付ける時は、下地の強度が製品重量を支えられるかを確認してください。又、その下地に応じたビス、アンカー等をご用意ください。コンクリート面には試供品のアンカーも使用可能です。
- ・取付け部が水平になっているか確認してください。
- ・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

3) ブラケットの位置決め

製品両端部より6～8cm離れた位置と、その間を等分した箇所にブラケットを固定しますので、予め、取付け面に印をつけます。(ブラケットが3個の時は2等分。4個の時は3等分となります) この時、両端のブラケットと必ず一直線上になるように留意してください。

印をつけたところに製品を支えられる強度が有るかを再度確認してください。もし、強度が十分でない場合は、位置をずらすか、取付け面の補強をしてください。

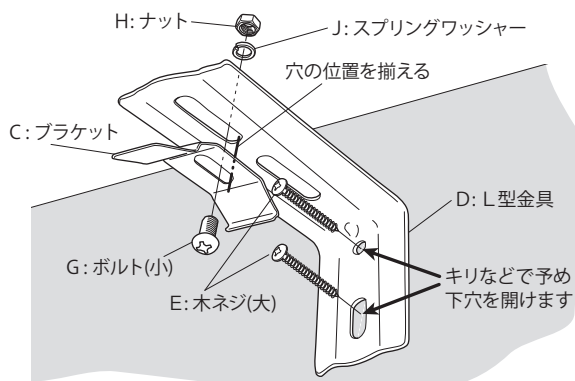


4) ブラケットの取付け

印をつけたところを基準に、高さや奥行きが一直線上になるように留意してください。壁面への取付けの場合はL型金具、天面への取付けの場合はブラケットを木ネジで止めます。

※木ネジを止める際は電動工具のご使用をお勧めいたします。

■壁面への取付けの場合

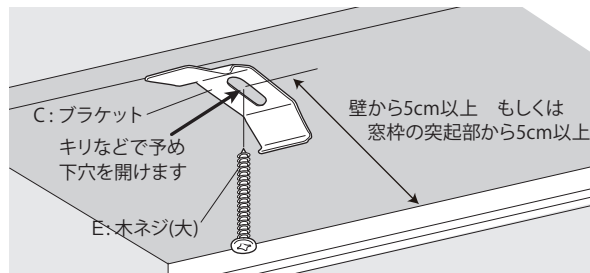


※ブラケットとL型金具の穴の位置を図のように合わせてください。

動画 (youtube) で
取付け方法を確認
できます



■天面 (天井) への取付けの場合

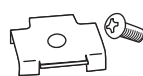


※壁 (窓枠の突起部) から5cm以上の距離を必ず確保してください。

■カーテンレールに取付けの場合

追加の付属品

M: カーテンレール取付けプレートとボルト



幅(cm)	～80	～140	～200	～260	～380
個数	2 個	3 個	4 個	6 個	8 個

確認1. 取付け可能なカーテンレールである事をご確認ください。

取付け可能 ダブルタイプかつ耐荷重10kg以上

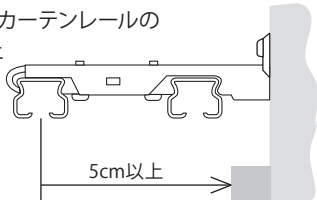
下記の断面のもので、内寸1.7cm以上



取付け不可 シングルタイプや下記のような装飾レール

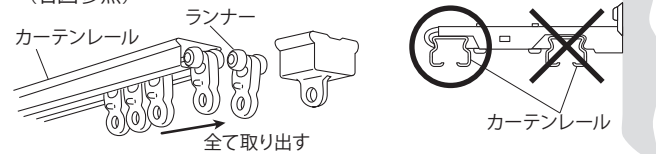


確認2. 窓枠などの突起部位から、カーテンレールの手前までの距離が5cm以上有ることを確認してください。

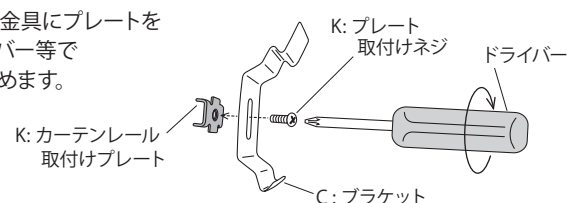


①カーテンレールのキャップを外し、ランナーを全て取り出してください。取付ける場合は必ず手前 (室内側) のレールに取付けてください。

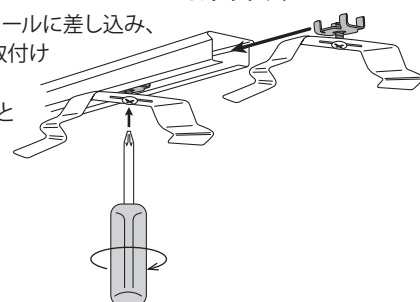
(右図参照)



②取付け金具にプレートをドライバー等で軽く止めます。



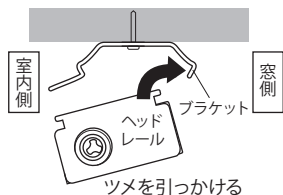
③プレートをカーテンレールに差し込み、3)で決めた位置まで取付け金具をスライドさせ、ドライバーでしっかりと固定します。



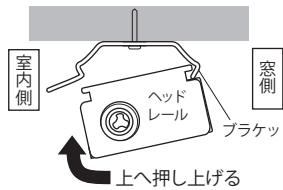
5) ヘッドレールの取付け

向きも右開き・左開きのどちらでも対応可能です。用途によって反転させてください。

- ①ヘッドレールを両手で持ち、ブラケットの奥のツメにヘッドレールを引っかけてください。左右にスライドさせて位置の微調整ができます。



- ②ヘッドレールの手前側を「カチッ」と音がするまで押し上げてください。

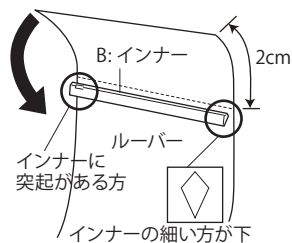


- ③ヘッドレールを下向きにひっぱるなどして、全てのブラケットに確実に固定されていることを確認してください。

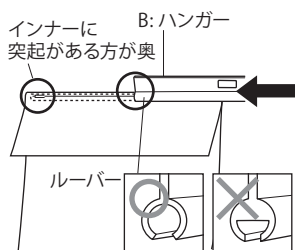
⚠注意 確実に固定されていないと製品が落下し、破損や思わぬケガをすることがあります。

6) ルーバーの組立て・取付け

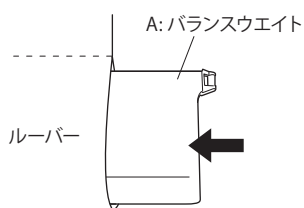
- ①ハンガーからインナー（ダイヤ型の棒）を切り離し、細い方を下にし、ルーバーの端から2cmの位置で直角に折り、インナーを挟み込みます。
※折る位置を変えることで、長さをお好みに応じて変えることができます。



- ②インナーを挟み込んだルーバーをハンガーで包むように横にスライドして差し入れてください。
※ルーバー全てを包み込みます

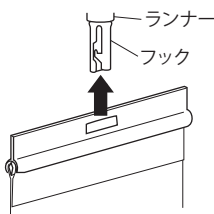


- ③ルーバーの下端にバランスウェイトを差し込みます。



- ④ハンガーを取付けたルーバーを向きを揃えて、ランナーのフックに下からはめ込んでください。

この時、手でフックを回転させないようにご注意ください。製品が破損する恐れがあります。



⚠注意 ルーバー取付けはヘッドレールに対して直角に行ってください。予め、バトン回して角度を直角に調整ください。

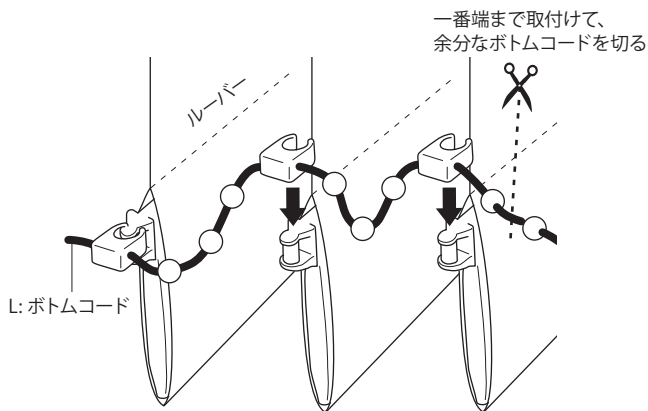
取付け直後、ルーバーがねじれていたりすることがありますが、しばらくすると安定します。一週間程度経っても解消しない場合は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

7) ボトムコードの取付け

バランスウェイトのフックに上からボトムコードをはめ込みます。全部のバランスウェイトにボトムコードを付け終わったら、余分なコードを切ってください。反対側も同じようにはめ込んでください。

※取付けは必ず一番端のバランスウェイト及びボトムコードから始めてください。

※ボトムコードがねじれないように注意してください。



こんな時は…

■ルーバーが落ちた。

原因 … ランナーのフックが抜けた。または、折れた。

処置 … ランナーの交換が必要です。

お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

■角度調整操作ができない。

原因 … バトンか、ランナーに異常が生じている。もしくは、ルーバーの取付け方法に問題がある。

処置 … お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

■壁または天井から製品が落ちた。

原因 … 取付けビスが抜けた。

処置 … 取付ける面の種類に応じた取付け方で取付けてください。

■ブラケットから製品が落ちた。

原因 … 製品が取付けブラケットに確実に固定されていなかった。

処置 … この取扱説明書に従って取付け直してください。

■取付け直後、ルーバーがねじれている。

原因 … ルーバーが安定していない。

処置 … しばらくすると安定します。一週間程度たっても直らない場合は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

■サイドキャップとヘッドレールのがたつきが大きい。取れそう。

原因 … サイドキャップを抑えるネジが緩んでいる。

処置 … ヘッドレール内側のサイドキャップ横にある、イモネジを六角レンチで締めてください。この時、シャフトを外に出すように押さえてください。スムーズなバトン操作の為、1mm弱の隙間を確保してください。

※イモネジが見当たらない時は、バトンを回してください。

